



佐農高だより

～ 汗をかき 人と和して 己を磨く ～

令和6年度 第2号 (令和6年5月発行)

佐賀県立佐賀農業高等学校 校長 三原 聖子
佐賀県杵島郡白石町大字福田 1660

TEL 0952-84-2611 FAX 0952-71-5009

<http://www.education.saga-ed.jp/hp/saganougyoukoukou/>



農業クラブ県連発表大会がまもなく開催されますが、農業高校にとって、農業クラブの各種大会は学びの本分を試される大切なものです。3年生にとっては最後の機会。これまでの農業高校での学習の集大成となる大舞台です。悔いのないよう、精一杯頑張ってください。

開校記念日 記念講演・歌垣山ハイキング



創立130周年を来年に控えた今年の5月1日は、本校同窓生であり、農業科学科で教鞭を執られる百武啓文先生が記念講演をされ、生徒たちは長い歴史に思いをはせました。翌2日の歌垣山ハイキングは好天に恵まれ、小麦が美しく輝く道を通して、新緑の木陰を歩きました。級友とおおいにおしゃべりし、往復の約12キロメートルはあっという間だったことでしょう。



明治28年4月23日に佐賀市多布施で開校した佐賀農業高校の当時の実習地は、現在佐賀工業高校がある辺りでした。それを記念して、平成6年の100周年の折に、発祥の地の記念碑が建てられました。年度末の3月には毎年、佐賀市在住の同窓生を中心に碑の清掃活動を行っています。今年の3月には70代くらいの大先輩に交じって、在校生も3名参加しました。そのうち

の1人、陣内慎矢さん(農業科学科2年・三日月中)は「なんとなく参加したのですが行ってよかったです」と話していました。その昔学校があったところは、今はすっかり町の中です。

百武先生は歴代の同窓会・国本会会頭をご紹介下さいましたが、農業分野だけでなく様々な方面で優れ、堅実な仕事をなさってきた先輩方が会頭を務めてこられたことがわかりました。体育館の校訓「明浄真正」の扁額は、本校卒業後、京都大学法科に進み、東京労働基準局に務めた後、弁護士に転身された眞子伝二氏による書だとのこと。氏は関東の国本会の会長を務められました。また、オリンピック選手、スポーツ指導者、画家、彫刻家など農業以外の各方面で活躍した卒業生が多数いらっしゃるご紹介されました。国本会は在校生に対して育英奨学金や海外への活動の助成金を出して下さるなど、様々な支援をして下さっています。

農業クラブ 校内意見発表大会

5月17日(金)、農業クラブの校内意見発表大会が行われました。農業クラブ員である全校生徒が3つの分野のテーマから関心のあるものを選んで約1200字のレポートを作成します。その中から学科の代表として優秀作品が選ばれ、全校生徒を前に、壇上で意見を発表しました。

I類は農業生産・農業経営に関すること、II類は国土保全・環境創造に関すること、III類は資源活用・地域振興に関することと分類されています。発表はどれも興味深いテーマを取り上げており、新たな学びに満ちた内容でした。

審査の結果、最優秀賞は平山琴音さん(食品科学科3年・城西中)、優秀賞は川崎彩羽さん(食品科学科2年・有明中)と今福里紗菜さん(農業科学科1年・江北中)が受賞しました。

平山さんは、白石町が栽培に取り組んでいるレモンの新品種「璃の香」を用いて、甘酸っぱくて香り豊かなレモンカードを試作しました。将来、白石の特産品としてなることを期しての挑戦です。また川崎さんは、佐賀平野に編み目のように広がるクリーク、つなげると2000キロメートルという途方もない長さをもつクリークを土のない耕地として利用するために、栽培実験に取り組んでいます。今福さんが語ったのは農業高校への期待と憧れ。入学したばかりの初々しさに満ちた発表でした。



この3名は6月14日(金)に白石町総合センターで開催される、農業クラブ県連発表大会に本校代表として出場します。この日は、プロジェクト発表も行われます。各学科の選考を通過した3組が今、最後の準備をして、本番に臨もうとしています。

優秀賞	I類	鶴田 尚子	食品科学科	3年	「推し活」される農業を目指して
	I類	今福 里紗菜	農業科学科	1年	お米とヒヨコと私と
	I類	向井 穂乃佳	農業科学科	2年	有機でGO!!
優秀賞	II類	橋口 輝	環境工学科	1年	安心安全なまちづくり
	II類	川崎 彩羽	食品科学科	2年	2000kmのクリークから
	II類	三浦 和愛	環境工学科	2年	食糧のふるさと農村地域をSDGs
最優秀賞	II類	岡 健太	環境工学科	3年	大切な海を守るために
	III類	平山 琴音	食品科学科	3年	「璃の香」から広げる地域振興
	III類	原口 大成	農業科学科	3年	棚田の良さを残したい!



田植え(農業科学科)

新年度の始業式直前の4月5日(木)、農業科学科2年生が早期コシヒカリの全自動田植機による田植えを行いました。これは人工衛星を用いて畦からの遠隔操作が可能です。生徒は運転席に座っていますが、何もしていません。「何もしないのに動いていてすごい!」、「思ったより速い」と驚いていました。2反5畝(25a)の田では、コシヒカリは暑さの影響を受けにくいとはいえ、昨グラムでした。今年は1トンの収穫を期待しているとのこと。



この後、6月には全科の1年生が手植えて田植えを体験します。

4月10日(水)の入学式の日には「おめでとう販売会」、4月19

校内マルシェ(食品科学科3年)

日(金)は「校内マルシェ」が食品科学科3年生によって昇降口前のロータリーにて開かれました。19日のマルシェは、はなまる連絡帳で保護者の方々へお知らせしましたが、当日は開店前から長い列ができました。生徒たちは余念なく準備し、いよいよ14時に店開きし、用意したマフィン、パン、パウンドケーキ、シフォンケーキ、ビスケットなどは飛ぶように売れ、およそ30分で完売しました。



4月30日には、道の駅しるいしにてカフェを開店。こちらも盛況でした。

6月行事予定

3日 (月) 眼科検診	16日 (日) 全商検定試験(電卓)
5日 (水) 進路講演会(3年)	20日 (木) 期末考査(全学年)
6日 (木) 内科歯科検診(2年)	(6月25日まで)
7日 (金) 就職模試(2・3年)	21日 (金) スクールカウンセラー来校日
10日 (月) スクールカウンセラー来校日	25日 (火) 服装頭髪指導
14日 (金) 農業クラブ県連発表大会	28日 (金) 野球部壮行会
第1回日本語検定	

編集後記 意見発表大会はテーマがいろいろ面白かったですね。去年の秋から本格的に家庭菜園に取り組む私も、今いろいろ実験をしていますよ。失敗で肝心の収穫がおぼつかない状況ではありますが、ちょっとうまくいっているのは、冬に収穫したキャベツの1株に、今4つ成って、大きくなりつつあることです。 K